

家計に例えると… 令和5年度決算を月収30万円の家計に変換

町税や使用料、諸収入は家計でいうところの「給与」にあたります。

支出のもっとも多くを占めるのが、医療、教育費、保険料にあたる扶助費や補助金などです。

また、翌月への持ち越し（繰越金）が出ており、収入の範囲で支出のやりくりができていくことがわかります。



収入		支出	
給与 (町税、使用料、諸収入等)	8.2万円 (27.5%)	食費 (給与等人件費)	3.8万円 (12.9%)
預金の取り崩し (繰入金)	3.3万円 (10.9%)	医療、教育費、保険料 (扶助費や補助金等)	10.5万円 (35.9%)
前月からの持ち越し (繰越金)	1.0万円 (3.4%)	光熱水費、通信料 (物件費)	3.9万円 (13.4%)
親からの仕送り (地方交付税、国庫支出金等)	13.7万円 (45.7%)	子どもへの仕送り (特別会計への支出)	1.6万円 (5.6%)
銀行からの借り入れ	3.8万円 (12.5%)	ローンの返済 (公債費)	1.8万円 (6.3%)
収入合計	30万円	家の修繕 (普通建設事業費等)	7.0万円 (23.9%)
		預金(積立金)	0.6万円 (2.0%)
		支出合計	29.2万円
		翌月への持ち越し (繰越金)	0.8万円

財政健全化判断比率 鏡石町の財政状況は「健全」

指標	内容	結果	早期健全化基準
①実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15.00%
②連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	20.00%
③実質公債費比率	町の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	9.6%	25.0%
④将来負担比率	町の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	100.6%	350.0%

国は地方公共団体の財政破綻を早期の段階で回避するため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を定めています。

町の財政が状況については、早期健全化基準を下回っており、鏡石町の財政は健全といえます。

令和6年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計	
一般会計	69億5,596万円	
国民健康保険特別会計	13億2,932万円	
後期高齢者医療特別会計	1億4,533万円	
介護保険特別会計	12億1,843万円	
土地取得事業特別会計	10万円	
工業団地事業特別会計	4,537万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億3,430万円	
育英資金貸付費特別会計	563万円	
小計	98億3,444万円	
上水道事業会計	収益的	9億3,871万円
	資本的	2億1,980万円
	計	11億5,851万円
下水道事業会計	収益的	4億1,466万円
	資本的	4億1,305万円
	計	8億2,771万円
合計	118億2,066万円	

令和6年度 上半期予算状況

令和6年度一般会計予算については、昨年度の同時期を4億81万円で上回る、69億5,596万円と、引き続き大規模な予算額となっています。

主な内容としては、成田遊水地整備対策の推進11億3,111万円、鳥見山陸上競技場改修事業2億4,538万円、健康まちづくり事業1億5,333万円、新都市交通



かがみいし健康ウォーキング

ネットワークの整備促進2億1,000万円、子育て・少子化対策事業2億2,860万円を計上しています。

特別会計の状況については、別表のとおりです。

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、令和6年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された令和5年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

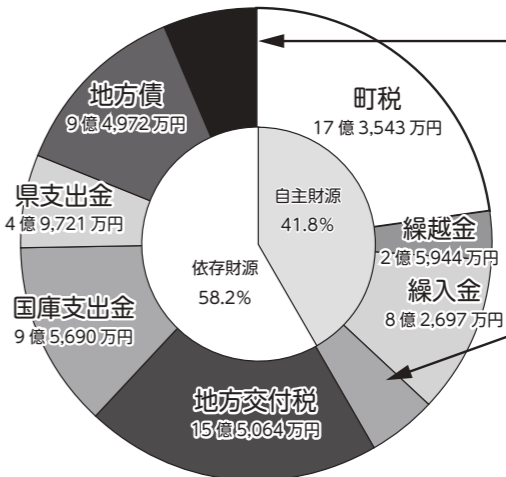
※財政情報は、町ホームページで見ることができます。
アクセスは、下記URL、もしくは右のQRコードよりお願いします。
【URL】 <https://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/kurashi/chousei/zaisei/008293.html>



令和6年度 財政公表

令和5年度決算

歳入総額 75億9,565万円



その他(依存財源)

地方譲与税	7,363万円
利子割交付金	42万円
配当割交付金	563万円
株式等譲渡所得割交付金	610万円
法人事業税交付金	3,212万円
地方消費税交付金	3億1,878万円
環境性能割交付金	625万円
地方特例交付金	2,502万円
交通安全対策特別交付金	91万円
自動車取得税交付金	85万円

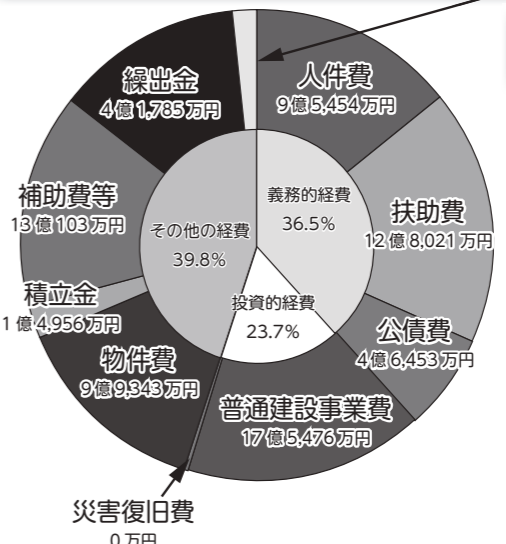
その他(自主財源)

分担金及び負担金	5,664万円
使用料及び手数料	5,407万円
財産収入	397万円
寄附金	2,840万円
諸収入	2億654万円

その他

貸付金	3,900万円
投資及び出資金	3,372万円
維持補修費	1,337万円

歳出総額 74億200万円



財政用語の解説

【一般会計】町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計

【繰入金】各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金

【地方交付税】自治体の財政力に応じて国から交付されるお金

【町債】国や銀行などからの借入金

【公債費】事業を行うために借りたお金の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金

【普通建設事業費】道路や公共施設などの建設・改修に使われるお金

【繰出金】特別会計へ繰り出されるお金

【扶助費】社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して交付されるお金

【歳入】令和5年度の歳入決算額は、75億9,565万円で、前年度決算額と比べると6億7,152万円の増加となりました。

歳入の主な内容は、町民の皆さんが納められた町税が、前年度と比べて4億5,799万円増加し、17億3,543万円となり、歳入全体の22.8%を占めています。

一方、国から交付される地

方交付税については、特別交付税が減少したこと等により、地方交付税全体額では前年度に比べ1億2,741万円減少し、15億5,064万円となりました。

また、国庫支出金については、第二小学校整備事業の減などにより、前年度と比べて1億9,294万円減少し、9億5,690万円となりました。

【歳出】令和5年度の歳出決算額は、74億2,000万円で、前年度決算額と比べると7億3,732万円の増加となりました。

歳出の主な内容は、健康福祉センター建設事業8億1,608万円、低所得世帯価格高騰重点支援給付金、1億1,600万円、鳥見山陸上競技場トラック改修2億6,895万円等となっています。

歳出を性質別に分類すると、扶助費が低所得世帯支援価格高騰重点支援給付金の増等により1億6,884万円増加し、12億8,021万円となりました。

また、普通建設事業費は、健康福祉センター建設事業等の歳出額が増額となり、前年度より6億6,488万円増加し、17億5,476万円となりました。